

横浜市立いぶき野小学校 令和2年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
夢に向かって 希望を持ち ともにばたく いぶき野の子 ～温かい言葉 思いやりの心 笑顔あふれる学校～	「まちから育つ長津田の子」「言語能力」 「自分づくり」「問題発見解決能力」

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>だれもが安心して、自分の夢に向かって成長していくことのできる学校創りを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組み、互いに学び合いながら、問題を解決していく力を育てます。 ・人とのふれ合いや関わり合いを大切にした教育活動を展開し、互いに認め合い、思いやることのできる心を育てます。 ・心身の健康のために、進んで運動したり、毎日の食事を大切にしたりすることができる力を育てます。 ・地域の特色や地域教材を生かした教育課程を工夫し、まちの「ひと・もの・こと」とのつながりを意識した体験的な活動を通して、まちを大切にすることを育てます。 ・学校、家庭、地域、諸機関の連携を密にして、安心して安全な学校生活が送れるようにします。 ・異なる文化や考え方を尊重することができるようにします。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の「できた」「わかった」を大切にした授業づくりに努める。 ・めあてを示し、板書を生かしながら見通しをもって授業に取り組めるようにする。
担当 学力・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの思いや考えを安心して伝え合える場面を設定し、学び合い高め合える授業づくりを行う。 ・学習時の児童の「ふりかえり」を大切にし、「次につながる」授業を意識した授業改善を図っていく。

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

平成30年度 全児童

令和元年度 全児童

(1) 学力の概要と要因の分析

学力は、現2～6年において、学年による差はあるものの、すべての学年の全教科で横浜市の平均を上回った。一方で学習意識は市の平均を体育や音楽などで大幅に下回り、生活意識も低下している。教科別に学力を見ると、算数、国語、社会、理科の順番に高くなっている。学習意識でも、算数、国語、家庭が「好き」と答える割合が市平均よりもやや高くなっている。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：4教科中で高い学力が示された。学習意欲も高い。
- 算数科：4教科中で高い学力が示された。学習意欲も高い。高学年で学力が高い傾向が見られた。
- 社会科：4教科中で2番目に高い学力が示された。学習意欲は比較的低い。
- 理科：市の平均は超えたが、4教科中で一番低い。学習意欲は比較的低い。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

30年度と比較して、学習意欲、学力において、低下傾向にある。学力では国語のみ横ばい、他教科は低下傾向にある。学習意欲も低下した。全体的な意欲低下については引き続き分析する。

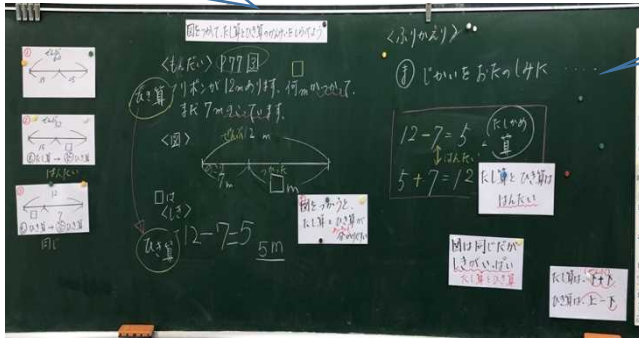
※データは令和元年度2月実施の調査より。

3 令和元年度 具体的取組

主体的に課題に取り組み、互いに学び合いながら、問題を解決していく力を育てます。

めあて（学習課題）を示し、見通しをもって学習に取り組めるようにします。

1時間の学習の流れが分かる、整理された板書を工夫します。



子どもたちが話し合う場面を意図的・計画的に設定します。自分の考えを理由をそえて言ったり、相手の考えを認めたりできるようにします。

きめ細かに机間指導を行い、子どもが「できる」「分かる」授業を進めていきます。

【生活科・総合的な学習の時間では】

「自分たちで課題を見つけ、いろいろな人に関わりながら学ぶ子ども」を育てます

いぶき野のまちの「人・もの・こと」と進んで関わり、「やってみたい」「調べてみたい」を見つけられるようにします。

子どもたちが主体的に学習に取り組める環境づくりをします。先生も一緒に学習を楽しみ、子どもと共に学びをつくっていきます。

自然や地域、社会に直接関わる「体験活動」を重視します。さらに、体験活動を充実させるために、情報を整理する、話し合うなどの「言語活動」も大切にしていきます。

畑で大豆を育てよう。毎日、水をたっぷりあげて観察しよう。

大きな台風が来る。台風から大豆を守る方法を話し合おう。

体験活動

言語活動

よし、今日のうちに、風よけネットをはってしまおう。

風よけネットはどうか。これでいいか、大豆名人にも聞いてみよう。